



FUCHU CITY

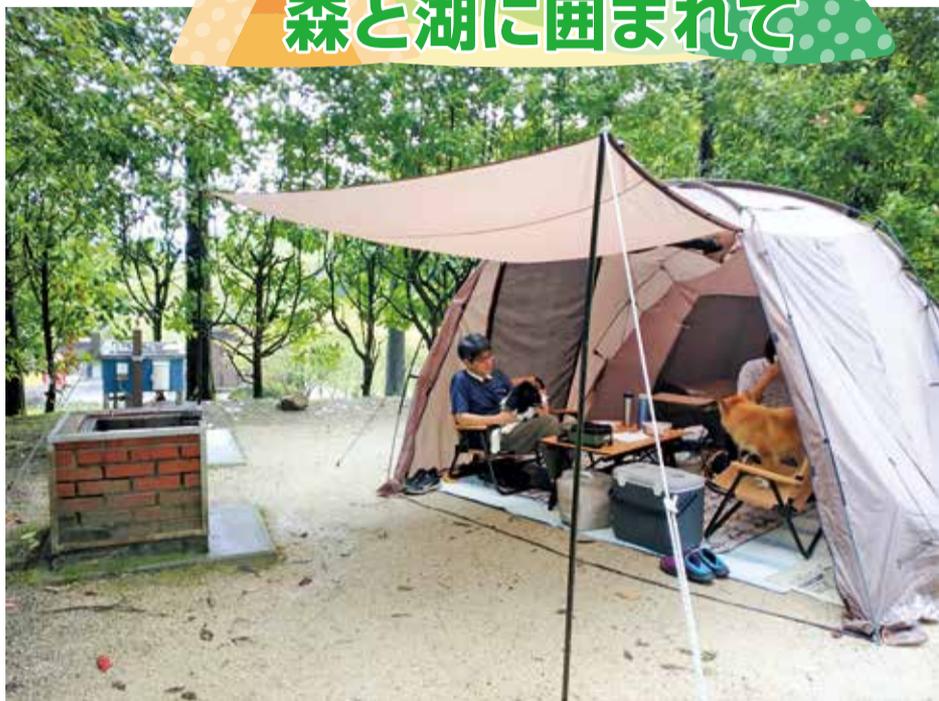
議会だより

No. 109

発行／府中市議会議長 令和5年8月1日発行 編集・広報広聴特別委員会
TEL(0847)43-7171・FAX(0847)45-3212 ホームページ <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp>

府中市議会情報誌
第109号

集え！ 府中のキャンプ場 森と湖に囲まれて



矢野温泉公園四季の里キャンプ場



羽高湖森林公園キャンプ場

今年も自然とのふれあいを求めて、各地からキャンパーが訪れています。府中市には、矢野温泉公園四季の里、河佐峡、羽高湖森林公園にキャンプ場があります。

府中市は、より多くの方に楽しんでいただけるよう民間の活力を取り入れたキャンプ場運営をめざしています。あなたも自然とのふれあいを満喫してみたいはいかがでしょうか。

6月議会

令和5年度府中市一般会計補正予算案を可決！

市議会6月定例会は、6月12日から6月27日まで16日間開き、議案28件、報告11件、決議1件、意見書3件を審議し議決しました。

主な審議

- 教育委員会委員の任命の同意について ふじい みさお 藤井美砂緒さんを教育委員会委員に任命（再任） 同意
- 令和5年度府中市一般会計補正予算（第3号）について
既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3億2,878万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ237億7,146万3千円とする。住民税非課税世帯等及び住民税均等割のみ課税世帯に対する、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援など 原案可決
- 府中市国民健康保険税条例の一部改正について
国民健康保険制度改革（県単位化）に伴い、現行の府中市国民健康保険税の税率を準統一保険料率に段階的に合わせる 原案可決
- 府中市羽高湖森林公園設置及び管理条例等の一部改正について
羽高湖森林公園キャンプ場、河佐峡キャンプ場、矢野温泉公園四季の里キャンプ場の利用料金制の整備 原案可決

議員提出意見書案

- 2024年度予算編成にあたって地方税財政の充実強化を求める意見書の提出について 原案可決
- 新型コロナウイルス感染症罹患後症状（後遺症）りかんの方の日常を守る取り組みの強化を求める意見書の提出について 原案可決
- 特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書の提出について 原案可決

議員提出決議案

- 議案第57号（府中市国民健康保険税条例の一部改正）に対する附帯決議案 原案可決

一般質問



6月15日、16日 14人の議員が
市政を問う！



市民クラブ 水田 悠

上下高校存続支援



You Tube

Q 存続支援の市の認識と生徒獲得のための下宿支援の考えを伺う。

A 高校の存在は、上下地域の活性化に大きな影響がある。将来の人口問題にも関わる。市から県教委に対して度々存続の要請を行っている。

下宿については7月から受入れ意向のある方の募集をする。県外募集についても、下宿受入れ先への補助を含め市として協力していく。あわせて市内県内近隣市町からの生徒獲得のため、スクールバス、スクールタクシーの運行を継続していく。



市民クラブ 則明 芝内

府中市公共施設等 総合計画



Q 公共施設管理を、財政的側面から検証し、負担軽減と施設の長寿命化を推進するものとしている。実効性ある物にするための具体的方法を伺う。

A 日常点検は、施設の安全性の確保、長寿命化、ランニングコストの縮減に極めて大きな影響があると認識している。今後は、日常点検マニュアルを活用して全庁的に取り組み、点検結果を反映した施設ごとの修繕計画を含む個別施設計画を早期に策定していく。



市民クラブ 土井 基司

重要伝統的建造物群 保存地区（重伝建）



Q 昨年の3月議会で、上下白壁の町並みを保存、活用するため「重伝建」の選定に向け検討を開始すると提案され

たが、今年度主要事業の中には含まれていない。一見後退したように感じられるが、選定に向けての検討状況、取り組み場合のスケジュールを伺う。

A 文化庁の調査官を招へいし、上下地区の視察や意見交換を行うなど、課題や可能性を確認している。他市町の事例を参考にすると、選定されるまでに最短で約6年を要すると見込んでいる。



創生会 澄子 森田

市職員の 休職状況



Q 過去5年間の休職者数を伺う。また男性にも更年期障害があり、うつと見間違いう症状が出ており、適切な治療が必要である。相談体制やメンタルケアはどのように行っているのか、また職場復帰はできているのか伺う。

A 休職者は直近5年間で42人。不調がうかがえる職員には市が設置している産業保健室の健康管理担当監（公認心理師）に相談等を勧める。そのほとんどが職場復帰をしている。



創生会 眞田 光夫

緊急時の ホームページ対応



Q 緊急災害・土砂災害・豪雨災害などでJアラートが発令されたとき、府中市のホームページ等が、切り替わる準備をされているのか伺う。

A 緊急時にはホームページ上段に、関連する情報を表示し、運用マニュアルによる対応を行う準備が整っている。切替える必要なタイミングで行われ、ふだん使い慣れているツール（マイ府中アプリ、ホームページ）を活用して、情報にアクセスできるようになっている。



創生会 毅 藤三

マイナンバーカードの 誤登録



Q 府中市では誤登録はないのか伺う。

A 府中市役所窓口の登録支援に関連する誤登録はない。一部の個人から誤登録してしまったとの相談が数件あった。他市町の誤登録の原因は、登録に使用するパソコンで、ログアウトせずに次の人が登録することで他人の情報が書きされたケースや、氏名の照合不備によるものなどがある。府中市ではログアウトの確認や登録者本人への情報確認など誤登録防止対策を徹底している。



創生会 和彦 広瀬

地震に対する防災



Q 南海トラフ地震による府中市の想定される被害と避難所となる公共施設の耐震化について伺う。

A 平成25年度に広島県が試算した被害想定は、府中市の震度は6弱、死者負傷者344名、全半壊1163棟。また府中市付近では芳井断層のずれにより震度6強、死者負傷者1791名、全半壊8423棟と想定される。安全確保のために耐震性を有する体育館や公民館を避難所として指定しており42棟確保している。



創生会 宏行 本谷

協働のまちづくり に向けた基盤づくり



Q 持続可能な地域社会をつくるために、どのような「住民のまちづくり組織」を考えているのか伺う。

A 必ずしも市内全域で同じ仕組みを当てはめるのではなく、既存の組織を活用することを含めて、地域の実情や思いに沿った組織づくりを支援することが大切だと考えている。そのためには町内会の思いなどを調査し、整理する必要があると考えており、本年4月から専任部署「地域活力創生チーム」がそういった取り組みを開始している。



新しい風
もりかわ 森川 稔

町内会活動



町内会活動の目的や役割はどのように考えているか伺う。

Q 町内会が担う活動は、住民間の親睦行事だけでなく、高齢者の見守りなどの支え合い、防災・防犯活動などの問題に対して「共助」の力で解決する機能がある。「自分たちの地域は自分たちでつくる」という住民が主役の住民自治に取り組んでいただき、行政も住みよいまちづくりや、持続可能なまちづくりを進めていくパートナーとして、支援していきたい。



新しい風
たなべ 田邊 稔

府中市周辺部の道路網強化



Q 上下町や神石高原町に通じる府中市周辺部の道路網の強化について、次期道路整備計画ではどのように考えているか伺う。

A 地域全体の一体的なまちづくりを進めていくためには、災害時の代替道路の整備や所要時間の短縮化による周辺部につながる道路網の強化は効果的である。府中上下線を初めとした周辺部の道路は、府中市の一体化を進めていく上で必要なネットワークであり、今後10年間、重要な幹線道路として強化を進めていきたい。



公明党
かしま 加島 広宣

救命率アップへの取り組み



Q 狭い道路などで活用できる軽救急車輻の導入を検討されるれば、市民に対して安心感を与え、救命率の向上につながるものと考えます。現在の高規格救急車では、侵入が困難であり、現場に近寄れない世帯数はどのくらいあるのかを伺う。

A 世帯数の調査確認はできていない。しかしながら、侵入が難しいエリア地域の確認はできている。



公明党
おおもと 大本 千香子

学力向上の取り組み



Q 府中市の小中学校の学力の状況と今後の取り組みについて伺う。

A 昨年度の県の学力学習意欲調査では、小中全てで県の平均より1〜3ポイント下がっている状況である。本年度4月・12月の2回、市内全部の児童生徒に学力調査を行い、課題の把握や学習意欲の向上を目指す。同時に総合質問紙調査（子供の心やクラスの状況調査）も行う。6月には結果を受けて全教職員の交流研修を行い情報の共有と課題の気づきを促したい。次年度も継続して行いたい。



無所属
ふじもと 藤本 秀範

空き家対策「住生活基本計画」における取り組み



Q 府中市空き家対策について伺う。

A 住生活基本計画に示す各項の指標目標は、平成28年に調査した老朽危険空き家数616から増加させない値で示している。危険な空き家は、特措法の改正を踏まえ、所有者側へ解体などの法的措置を促したい。空き家の解体と改修につながる支援は、府中市老朽危険空き家解体促進事業がある。また支援案としては、家具撤去助成、除去後の固定資産税猶予特例適用など先進自治体を参考として検討したい。



無所属
おかだ 岡田 隆行

プラごみの収集回数



Q 容器包装プラスチックごみの収集において、近隣の市町はほぼすべて週1回となっている。回数を増やすことの必要性を府中市はどのように認識しているのか。

A 近隣市町と比較しても府中市の収集回数が少ないことは認識している。また、市民の声としても、真摯に受け止めている。しかし、収集回数を増やすことは、車両台数を増やしたり、新たな人材の確保をしたりする必要もあり大きな課題となっている。

委員会での審査

総務文教委員会

府中市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び府中市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正について（原案可決）

Q 条例の一部改正の理由について伺う

A これまで、会計年度任用職員の条例の控除に係る規定については、広島県の条例を参考としていたが、任期の定めのない職員、いわゆる一般職員の条例を準用した上で、制度上可能なものから控除できるように改めるものである。今後、ALT（外国語指導助手）が増員されることを受け、ALTの公舎使用料もこの条例改正を準用できるものである。

Q 今回の改正により、どのように利便性が図られるのか。

A ALTの住居については、これまで、教育委員会がアパート契約等を行い、無料で提供していたが、ALTが12名に増員となるこのタイミングで、住居費の一部負担を求めよう見直しを行うこととしている。これに伴い、ALTや職員が現金を取り扱うリスク、事務手続きの負担などが想定されるが、この条例改正により、報酬から住居費の一部を直接控除することで、ALTや職員の負担軽減につながる。

Q 一部改正について。（原案可決）
広島県全体での国民健康保険税の状況と、今後の予測について伺う。

A 令和5年度の広島県全体の状況は、一人当たりの保険料収納必要額が13万7千円余りであり、対前年度比8.5%、1万700円余りの増加となっている。平成30年度の県単位化以降、最大の上昇幅となっている。要因として、一つ目は、コロナ禍が落ちつき、受診行動が戻ってきていること。二つ目は、高齢化の進展や、団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移行したことにより、後期高齢者への支援金や介護給付費が増加傾向にあること。三つ目は、70歳以上の国民健康保険の被保険者数が大きく減少し、他の健康保険組合からいたただく、前期高齢者交付金が減少したことが考えられる。今後の予測は、広島県の試算によると、令和9年度までは、国民健康保険の被保険者数は減少傾向にあるが、令和10年度以降はまた徐々に増えていくという推計がされており、令和9年度までの間は1人当たりの保険税額は上昇すると予測している。

Q 物価高騰が進んでいる状況下で、国民健康保険税の増額は大きな負担になるのではないかと思われるが、どのように考えられているのか伺う。

A 市民の負担増加になるということは認識している。ただ国民健康保険税については、安心して治療を受け

厚生委員会

府中市国民健康保険条例の

ていただくために必要な財源なので、給付の費用を賄うためには、増額していかなければならない状況にあるということとはご理解いただきたい。今回、国保の基金を投入し、上がり幅を4、763円に抑えたが、今後も、フレイル予防や特定健診など、健康維持・増進につながる取り組みに力を入れ、増加傾向にある医療費の抑制に努めていく。

Q 国民健康保険制度の脆弱体制について、国や県にどのような働きかけをされているのかを伺う。

A 国や県に対して、制度・体制の安定的な運営に関する要望を上げている。

建設産業委員会

府中市羽高湖森林公園設置及び管理条例等の一部改正について
(原案可決)

Q キャンプ場の利用料金上限額を規定されているが、今回の改正案に示されている金額を下回る利用料金の設定も可能であるという理解で良いか。

A 今回の利用料金設定については、設備などの条件が似通った近隣のキャンプ場の料金と比較して設定したものであり、公募の際に応募する民間事業者が、上限金額より低い収支計画で提案してくることもあり得る。利用料金に幅を持たせることで、民間事業者の公募提案の際に提出される事業計画での企画や、収支計画の費用配分の幅も膨らみ、サービス向上にもつながるものと考えている。

Q 地域連携について、指定管理者にはしっかりと検討

討していただいで、地域の活力の向上に努めていただきたいと思う。施設だけではなく、地域全体を見る目が必要だと思いがいかか。

A 指定管理の公募をかける要件の中には、例えば、継続雇用の問題、その地域との連携を応募してくる業者が、どういうふうを考えているのか、あるいは、地域が持つ力をどういうふうを活用してくれるかといった提案も大きな加点になる要素である。地域とのつながり、地域が持つそのポテンシャルをどう

予算特別委員会での審査

総務文教分科会

令和5年度府中市一般会計補正予算(第3号)について

Q 財政調整基金からの繰入れ理由と基金残高、また令和5年から令和9年度の中期財政見通しにおける基金残高の推計との比較について伺う。

A 6月補正予算において、財政調整基金から3億2186万9千円の取り崩しをしている主な理由は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用事業について、最終的にはコロナ交付金をベースに財源とするが、今後、県の補助制度やコロナ交付金の規模感の変動要素もあることから、交付金を充当せず、一旦、財政調整基金の取り崩しによって予算の編成をしている。

また、財政調整基金の取り崩しをした場合の基金残高

ういうふうには最大限活用していくかを、公募の中の仕様書に盛り込んでいき、そこを新たな視点でさらに活力ある地域にしていくために、一緒に取り組んでいける相手を選定していきたい。そのためには地域の協力も必要であり、もちろん観光の一部として観光協会にも一緒になって取り組んでもらう必要があるところも含めて、いろいろなアイデアが出てくることを大変期待している。

は、およそ12億2500万円になるが、最終的にはコロナ交付金を歳入として受けることになり、当初予算編成時の中期財政見通しには影響は生じないと見ている。

厚生分科会

新型コロナウイルス接種事業について、

Q 府中市の現在のコロナ感染状況はどうなのか。また、5類への移行やワクチン接種体制、会場スタッフの確保について伺う。

A 新型コロナウイルスの5類移行に伴い、感染者の全件把握が他の感染症と同様に定把握に変更された。現在の感染状況は、広島県が毎週1回更新し、その内容は県内112か所の指定医療機関が1週間に判明した感染者数を保健所へ報告し、1定点医療機関の1週間当たりの感染

者数の平均を数値化している。保健所単位での状況把握となっており、今後はこの情報に注視し、感染対策などの注意喚起を行っていく。また、ワクチン接種体制については、大きな変化・変更はない。集団接種会場のスタッフ確保についても、これまでの経験者を中心に体制を整えており、スムーズな運営を行っている。ただ、これまでと異なる点はワクチン接種費用の国負担について、国庫補助に上限が設けられることになった。また国からは個別接種を中心に接種を進めるよう通知があったため、今まで集団接種を中心に接種体制を構築してきたが、今年5月からは、個別接種を中心に実施し、土日に限定して集団接種を実施している。

建設産業分科会

飼料価格高騰対策支援事業について

Q この予算で何頭分の支援ができるのか。また、国・県が行っている支援では十分との認識により、府中市で補助金を拡充しているのか伺う。

A 府中市では、酪農牛と肉用牛を飼養する畜産農家が令和5年2月末時点で14戸あり、対象飼養頭数は568頭となっている。飼料価格は畜産経営の約5割を占めており、価格高騰の影響を顕著に受けることとなる。そのため、畜産農家は飼料価格のセーフティーネットである配合飼料価格安定制度に全戸加入をされており、飼料価格が高騰し

た場合には、補填金を受け取れる。その補填金に上乗せをする形で、令和4年9月から国が飼料1トン当たり6750円の補填金を交付し、令和4年10月からは広島県が令和4年4月に遡って1トン当たり3200円の補填金を交付している。また、国は、令和5年1月から3月まで、補填金を8500円に増額をされており、広島県も、令和5年4月からは最大9400円に増額をしている。そうした補填金の交付を受けてもなお畜産農家の負担はまだ大きく、畜産農家の廃業も起こりうるという判断をし、府中市でも独自の支援金を交付することとした。国や県に対しては、今後もこの支援の拡充を要望しながら、今後の支援の在り方については検討していきたい。

賛成討論

創生会 広瀬 和彦
国保基金の活用は、これまでも段階的に上げ幅の調整に投入している。令和6年度からは、県準統一の税率になるため、各市町の基金を活用し全体の税額の引き下げにあてる予定となっている。また、災害や経済状況の悪化等で想定以上に徴収が出来ない場合や、国民健康保険に係る事業などで被保険者への還元基金が投入される。

附帯決議

議案第57号(府中市国民健康保険条例の一部改正について)に対する附帯決議※
国民健康保険制度は市民の安心安全の担保に必須の制度であり、安定的な運営が確保されることは重要である。しかし、現在の急激な物価高騰の中の増税が市民生活へ与える影響は大きい。よって、今後も国、県に対する財政支援の要請を行うこと、また国保会計の財政調整基金の活用による予防医療、検診の拡充、及びデータヘルス活用の促進等、健康寿命を延ばす施策の充実を図り、医療費の抑制に努めることで、更なる保険税値上げの抑制に取り組むよう強く求める。

討論

議案第57号府中市国民健康保険条例の一部改正について

反対討論

無所属 岡田 隆行
物価高騰が続くなかで市民生活は疲弊している。昨年も国保基金からの繰入れで保険税を減額した。県内でも、保険税を据え置く英断をしている自治体もある。府中市は、今回基金から繰り入れて一定の減額はしている。さらに繰り入れ、税額を据え置くことは可能と考え反対する。

※附帯決議とは、議決された議案に関して付される、施行についての意見や希望などを表明する決議。法的拘束力は有しない。

令和4年度政務活動費の報告

各会派に政務活動費として議員一人当たり、年間24万円が交付されます

| 会派 | 人数 | 支給額 (円) | 使用額計 (円) | 使用項目 | 使用額 (円) | 使用内容 | 効果 |
|-------|------|-----------|-----------|--------------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 創生会 | 12人 | 2,880,000 | 1,793,714 | 研究研修費 調査旅費 資料購入費 | 139,794 1,560,750 93,170 | 全国議長会フォーラム（長野市）JIAM研修（大津市） 長野市、市原市、練馬区、戸田市、草加市、みやき町、福岡市、可児市、岩倉市 書籍購入 | ・議長フォーラム：「コロナ後の地域経済」についてホクト文化ホールにてコロナ後の地域経済・地方議会のデジタル化について全国の事例や様々な取り組みをご紹介頂きました。 ・陳情活動後「研修」：衆議院・参議院会館を訪問し、要望書を広島県選出の13名の国会議員に手渡しました。 ・東京都練馬区視察：ひとり親家庭自立プロジェクトについて説明を受け、ひとり親家庭の自立を応援する為に支援窓口を充実させ、生活・就労・子育てのテーマに分けて各施策を推進している経過を伺いました。 ・千葉県市原市視察：市原市は2014年に「市原地域公共交通網形成計画」を策定し、超高齢化や過疎化の進む地域に対応して、市民の移動手段を確保するよう交通網を見直しを行われていました。 ・佐賀県三養基郡みやき町視察：MAGOボタンを活用した健康長寿実践事業 地域でできることは地域に任せ、地域でできないことを有償ボランティアで補ってようなシステム作りを目指しておられ、その有償ボランティアの一つのMAGOボタン事業について説明を受け府中市でも簡単に取り組める良い事業だと感じました。 ・日経グローバル定期購入費（令和4年4月～令和5年3月） ・コロナ禍により計画していたその他調査研究がおこなえず、一部の交付金を返還しました。 |
| 市民クラブ | 3人 | 720,000 | 720,000 | 研究研修費 調査旅費 広報費 会派活動費 | 10,680 190,290 525,485 6,455 | 中山間地の諸課題解決セミナー 益城町・諫早市・北九州市・庄原市 市民クラブニュース発行・印刷代・折込料・送料 | ・庄原市で開催された中山間地の諸課題解決セミナーへ参加し、「市民にとって議会とはなにか」について学びました。 ・益城町に、災害からの復興について、「震災後の町づくり」について確認ができました。 ・諫早市へ入退院支援連携ガイドについて、「入退院の支援」の参考になりました。 ・北九州市に、SDGsについて、SDGsの取り組みを通したシビックプライド醸成について学びました。視察での成果を活かし、都市計画や地域医療・市民参加のまちづくりなどの一般質問と政策提言を行いました。 |
| 公明党 | 2人 | 480,000 | 259,837 | 研究研修費 調査旅費 | 18,627 241,210 | 全国議長会フォーラム（長野市） 千代田区、市原市、練馬区、みやき町、福岡市 | ・全国議長会フォーラムでは、これからの議会に対してDX推進や手続きなどのオンライン化への整備に対しての課題などを伺いました。 ・ひとり親家庭への支援では、個別にニーズ調査がおこなわれ、ひとりひとりに寄り添った対応がおこなわれていました。 ・交通空白地対策では、公共交通に偏らない府中市の特性に合わせた移動手段の確保の重要性を感じました。 ・MAGOボタン事業では、高齢者や一人暮らしの方に生活が明るくなる、優しいまちづくりがおこなわれていると感じました。 ・重要な計画の議決等に関する条例については、二元代表制の一翼を担う議会として本市においても検討をすすめるべきと感じました。 ・コロナ禍により計画していたその他の調査研究がおこなえず、一部の交付金を返還しました。 |
| 無所属 | 岡田隆行 | 240,000 | 240,000 | 研究研修費 資料購入費 広報費 会派活動費 | 138,920 45,870 89,760 34,550 | 財政基礎研修 福岡市他 日本教育新聞・生活保護手帳・中国新聞データベース版 議会報告印刷費 | ・自治体の財政状況をつかむポイントや地方財政における「歳入」「支出」の基礎の理解ができました。またオンラインによる研修では、決算審議の基礎から応用に至るまでの理解ができました。 ・政治や教育の動き、国や各自治体の取り組みなどを知ることができました。 ・議会活動の報告として「たんばば」を発行し、議会活動への理解を深めることができました。 |
| 無所属 | 藤本秀範 | 240,000 | 104,930 | 研究研修費 調査旅費 | 63,710 41,220 | 「ことば」の教育研究会研修 盈進学園 地方財政制度の基本と自治体財政研修 大津市 市制参画の取り組み 可児市 議会サポーター制度 岩倉市 | ・言語能力を自己表現力とした「ことば探求科」を学ぶことができ、一般質問に活かしました。 ・市町村議会研修では歳入歳出予算の基本を学ぶことができ、予算総括質疑に活かすことができました。 ・民意を反映させる為に、支え愛のサイクルを掲げていたことを学び、本市にも反映させたい思いを強く感じることができました。 ・コロナ禍により計画していたその他調査研究がおこなえず、一部の交付金を返還しました。 |

○詳細は府中市ホームページにも掲載しています。

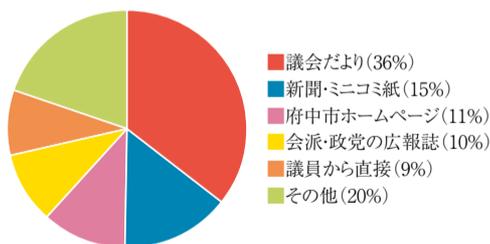
市政参画促進特別委員会 市民アンケート(令和5年2月1日～2月28日)結果

回答総数は261人（男性156人、女性101人、性別無回答4人）です。多くのご意見、ありがとうございました。主な回答を掲載します。

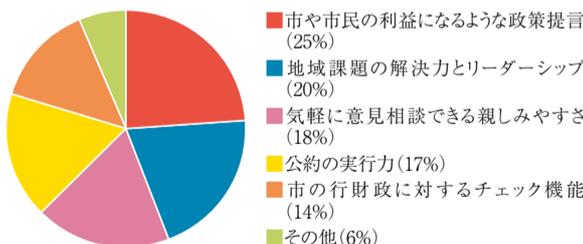


詳細はホームページへ

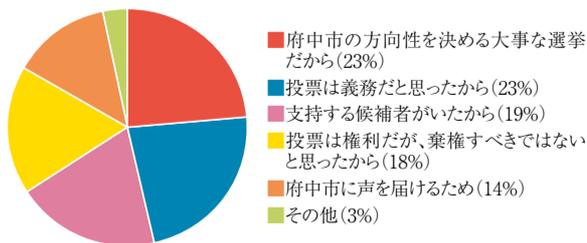
あなたは議会や議員活動の情報をどこから得ていますか(複数回答可)



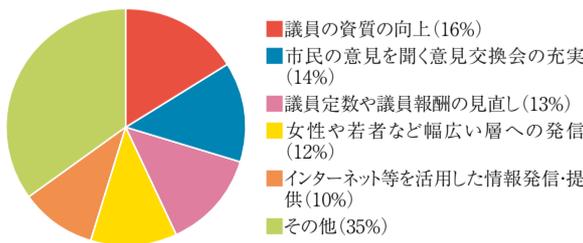
あなたは今の議員に何が不足していると思いますか(複数回答可)



先の市議選で投票された理由は何ですか。(複数回答可)



あなたは市政参画について、今後の府中市議会が取り組むべき課題は何だと思いますか。(複数回答可)



市民の声を市議会に反映させるために何が必要だと思いますか(主な回答)

- ライン・SNSなどで直接意見交換できる仕組み
- 市民の声を議員が聞く機会を多く持つ（年代別・町内会・各種団体・若者等直接会う）
- 議員の質の改革（やる気・聞く気・知識・提言力等）
- 色んな形のご意見箱・目安箱

府中市議会や議員に対する意見や要望等自由記述(主なもの)

- 定数削減（人口に対し議員が多すぎる）15人
- 議会・議員の仕事の見える化 11人
- 市全体を考える議員になってほしい4人
- 議員の質の改革（自覚・声を聞く姿勢・本気度）4人
- 公約の達成率の公表3人

市政参画促進特別委員会の活動報告

「議会って何しよーるん？」とたくさんの市民の方に気にしてほしい！一緒に市政を考えたいと感じてほしい。そして「投票に行きたくなるような議会」のために「市政参画促進特別委員会」をスタートし1年。

これまで18回の委員会を開催。主な活動と検討内容をご報告します！

- 2022年**
- 7月21日 特別委員会設置、方向性とスケジュール確認
 - 11～12月 高校生アンケート実施（府中東高校・府中高校・上下高校）
 - 11月1～2日 JIAM（全国市町村国際文化研究所）の議会改革研修受講
- 2023年**
- 2月2～3日 取手市・町田市への議会改革視察
 - 2月 「My府中」で一般市民アンケート実施
 - 4月26日 江藤俊昭大正大学教授を迎えて議員研修会開催「政策提言サイクル確立に向けて」
 - 5月11日 政策提言サイクルのための決算審議の検討
 - 6月29日 府中市議会としての決算審議活かし方検討

これからますますオモシロクになります。ご期待ください！

6月議会での各議員の議決結果

(賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

| 議案名 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|------|-----|-----|-------|------|-----|------|---|
| | 加藤吉秀 | 藤本秀範 | 岩室雄大 | 真田光夫 | 岡田隆行 | 芝内則明 | 福田勉 | 広瀬和彦 | 森川稔 | 土井基司 | 加島広宣 | 安友正章 | 田邊稔 | 水田豊 | 大本千香子 | 本谷宏行 | 三藤毅 | 棗田澄子 | |
| 人事 | 教育委員会委員の任命の同意について | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 予算 | 令和5年度府中市一般会計補正予算(第3号)について | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 条例 | 府中市国民健康保険税条例の一部改正について | - | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 条例 | 府中市羽高湖森林公園設置及び管理条例等の一部改正について | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 意見書 | 2024年度予算編成にあたって地方税財政の充実強化を求める意見書 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 意見書 | 新型コロナウイルス感染症罹患後症状(後遺症)の方の日常を守る取り組みの強化を求める意見書 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 意見書 | 特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 決議 | 議案第57号(府中市国民健康保険税条例の一部改正)に対する附帯決議 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

(一議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥・・・本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)

議員研修会



4月26日に議員研修会を行いました。

研修会は「政策提言サイクル確立に向けて」と題して、大正大学社会共生学部江藤俊昭教授から講義を受けました。3年ぶりの対面方式での研修で、議会からの政策提言に向けて、他自治体の例を挙げながら、わかりやすく説明いただきました。



編集後記

府中市は、協働のまちづくり推進事業に力を入れています。ひと昔前は、田植えを共同したり地域で道を直す「道づくり」などお互いに助け合っのが当たり前でした。時代は進み、以前と同じ「結」のような協働のまちづくりはできません。しかし、「温故知新」という言葉があるように、古き郷土を求めて新しい協働の姿を知ることができます。上下町の白壁通り、栗生地区のあじさい寺、協和地区の阿字和紙の復活等では、歴史的遺産に地域の魅力を求め地域の活性化につなげようとしています。皆さんのまちの古き宝を地域で掘り起こしてみませんか。(田邊)

議会だよりへのご意見・ご感想お待ちしています。
TEL(0847)43-1171
FAX(0847)45-3212

議会の動き(4~6月)

- 4月10日 総務文教委員会(委員会スケジュール、調査事項確認、行政視察について)
- 4月11日 建設産業委員会(委員会スケジュール、調査事項確認、行政視察について)
- 4月12日 市政参画促進特別委員会(議員研修会の協議)
広報広聴特別委員会(議会だより編集会議)
- 4月13日 厚生委員会(委員会スケジュール、調査事項確認、行政視察について)
- 4月18日 議会運営委員会(一般質問の時間、予算科目の分科会への割当てについて)
建設産業委員会(河川整備計画について執行部から説明)
- 4月19日 総務文教委員会(行政視察について)
- 4月24日 厚生委員会(行政視察、管内視察、意見交換会について)
- 4月25日 建設産業委員会(行政視察について)
賑わいづくり特別委員会(調査事業について執行部から説明)
- 4月26日 市政参画促進特別委員会(議員研修会「政策提言サイクル確立に向けて」)
- 5月2日 市政参画促進特別委員会(政策提言サイクルの確認、委員会からの情報発信について)
- 5月8日 厚生委員会(行政視察、管内視察、意見交換会について)
- 5月10日 賑わいづくり特別委員会(前回説明会のまとめ、追加調査事項について)
- 5月11日 市政参画促進特別委員会(決算審査、情報発信について)
- 5月12日 議会運営委員会(議会6月定例会の日程等について)
総務文教委員会(行政視察、意見交換会について)
- 5月15日 厚生委員会(行政視察について)
- 5月17日 厚生委員会(介護施設、私立保育所との意見交換会)
- 5月23日 厚生委員会(放課後児童クラブの視察)
- 5月25日 市政参画促進特別委員会(決算審査、情報発信について)
厚生委員会(公立保育所との意見交換会)
- 6月5日 総務文教委員会(行政視察における調査事項の確認)
厚生委員会(行政視察における調査事項の確認、管内視察・意見交換会のまとめ)
- 6月6日 議会運営委員会(議会6月定例会の運営について)
- 6月12日 市議会定例会(一般質問、議案審議(6/12~6/27))
- 6月20日 総務文教委員会(執行部から所管事業の説明)
- 6月22日 建設産業委員会(執行部から所管事業の説明)
- 6月28日 賑わいづくり特別委員会(追加調査事項について)
- 6月29日 市政参画促進特別委員会(決算審査マニュアルについて)